

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター2号

■「高校生のための保育・教職入門」

連続講座の申込受付を開始しました

子ども発達教育学科では、6月より「高校生のための保育・教職入門」を開催します。これまで、私たちの学科では、オープンキャンパスや高校訪問で、生徒の皆さんから「保育や幼稚園・小学校の先生に興味はあるけど、自分になれるだろうか？」などの質問に数多く接してきました。

私たちの学科では、保育や幼稚園・小学校の先生を進路の一つに考えている生徒の皆さんに、今の保育や幼稚園・小学校の様子や大学の授業内容などを知っていただき、よりよい進路選択につながるサポートができればと考え、講座を企画しました。各講座では、現場を熟知している学科教員や在学学生が、全6回の講座を担当します。また、各回で保育や教職のピアノレッスンも開催します（初心者大歓迎）。

比治山大学への入学を志望する・しないにかかわらず、保育士・教員養成をぜひ体験してみてください。各回とも事前予約制、13時～16時（最大）の開催となります。下のQRコードからお申し込みください。

- ・第1回 6/27 子どもの心理学・子どもと自然環境 1
- ・第2回 7/11 子どもと自然環境 2*
- ・第3回 7/25 子どもと英語教育
- ・第4回 8/8 子どもの世界*
- ・第5回 8/29 保育や教育の役割*
- ・第6回 9/26 保育・教職をめざすには*（在学学生が担当します）



<*の回は、オープンキャンパスと同時開催です>

■第1回講座「子どもの心理学」

乳幼児期の子どもたちは遊びを通してたくさんのことを学びます。子どもたちは「今、これを学んでいる！」と自覚的ではありませんが、保育者には、子どもの遊ぶ姿から発達を読みとり、次の遊び環境を用意することが求められます。

さて、突然ですが、皆さんは泥だんごを作った経験がありますか？ 泥だんごにはたくさんの学びの要素がつまっています。今回は、「泥だんご」に注目して、子どもの遊びと発達の関連や、保育者の専門性についてお伝えします。保育園や幼稚園での様子、また、大学生の泥だんごづくりの授業の紹介をしながら、遊びの奥深さや保育の魅力を一緒に考えてみましょう。

（講座担当：濱田祥子）

新3号館玄関



HIJIYAMA



採用試験対策講座での対話型授業



ML 教室を活用した授業

■幼稚園・保育園・小学校の先生をめざす高校生のための「子どものうた ひきうたい入門講座」

子どもたちはたくさん歌っています。楽しい歌は元気な歌声で、美しい歌はきれいな歌声で。同時に、歌うことをとおしてみずからの心を成長させ、音楽性の基礎も伸ばしていきます。

さて、先生をめざす高校生は、何を取り組みどんな練習を？

音楽指導の本格的な方法やスキルは大学に入ってから学べば十分。いま、準備しておくといことは、①「子どものうた」の魅力子どもを思い浮かべながら、あらためて味わうこと、②「子どものうた」伴奏スキル習得のための基礎練習を始めておくこと、です。

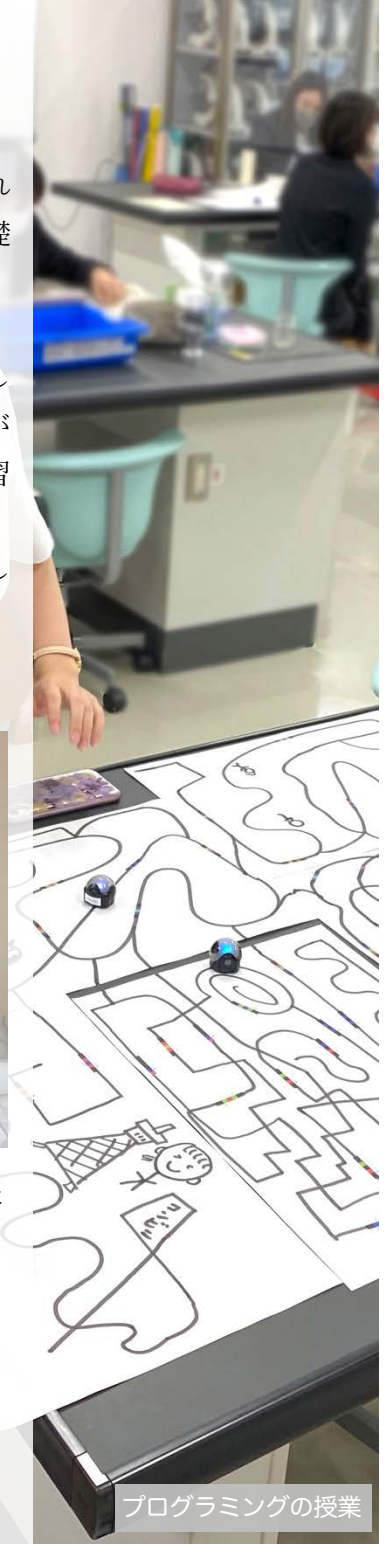
講座では、参加者全員で子どもに戻り、数々の「子どものうた」にふれてみましょう。きっと新しい発見があります。
(講座担当：緒方 満)

■私のおすすめの授業

3年の保育士養成系の科目「保育指導法「言葉」」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」からグループでオリジナルの紙芝居とペープサートを制作し、幼稚園に訪問して披露しています。

オリジナルの物語を考えることも難しかったのですが、その内容を10の姿と関連させることがより難しかったです。しかし、活動の中で友達と協力する力とグループで連絡を取り合って計画的に進める力、想像力、制作技術などたくさんを身につけることができました。試行錯誤しながら完成させたものを見て子どもたちが楽しんでくれた時は、とても嬉しく今まで感じたことがないほど達成感を感じました。この経験は、その後の実習にもとても役立ちました。

保育士・幼稚園教諭志望 4年 山岡祐菜 (愛媛県立松山北高等学校出身)



プログラミングの授業

このニュースレターは、毎月発行します。次号は「高校生のための保育・教職入門」第1回のご報告と、第2回の内容を紹介します。

